

**製品名: EHMT2 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86939**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:500-1:1000,FC 1:50-1:200,IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:132 kDa; Observed MW:160-180 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	EHMT2
別名	G9A; BAT8; GAT8; NG36; KMT1C; C6orf30
遺伝子 ID	10919
SwissProt ID	Q96KQ7
免疫原	ヒト G9a/EHMT2 の組み換えタンパク質

**背景**

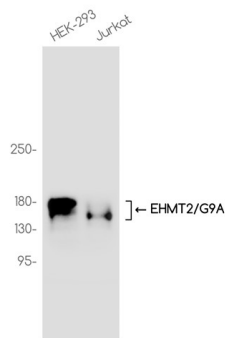
この遺伝子は、ヒストン H3 のリジン残基をメチル化するメチルトランスフェラーゼをコードする。このタンパク質による H3 のリジ

ン9位のメチル化は、追加のエピジェネティック制御因子のリクルートメントと転写抑制をもたらす。この遺伝子は当初、HLA遺伝子座において互いに隣接する2つの異なる遺伝子、NG36とG9aであると考えられていた。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じる。[RefSeq提供、2016年1月]

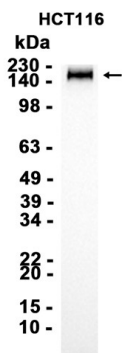
## 研究分野

-

## 画像データ



EHMT2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、HEK-293、Jurkat 細胞抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。



AMRe86939 を 1:1000 で使用して HCT116 細胞抽出物をウエスタンブロット分析しました。